

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第12週 (3/20-3/26) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		12週	11週	10週	9週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	17	18	18
	眼科	5	4	5	5
	インフルエンザ*	28	26	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			3/20-3/26	3/13-3/19	3/6-3/12	2/27-3/5	3/13-3/19
			12週	11週	10週	9週	11週
小児科	RSウイルス感染症		0	2	1	0	17
	咽頭結膜熱		3	1	0	2	32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	42	47	42	481
	感染性胃腸炎		101	116	100	95	879
	水痘		6	4	10	3	67
	手足口病		1	0	0	0	7
	伝染性紅斑		1	0	0	1	5
	突発性発しん	○	14	10	11	9	44
	百日咳		0	1	0	0	1
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		1	6	6	4	39
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		150	231	265	304	2,164
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	1	1	1
	流行性角結膜炎		0	0	0	6	20
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	2	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	A型肝炎	男性	30歳代	血清IgM抗体の検出
結核	女性	70歳代	IGRA検査	クロイツフェルト・ヤコブ病	男性	70歳代	脳波MRI等
結核	女性	80歳代	病原体の検出	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出
腸管出血性大腸菌感染症	男性	20歳代	病原体の検出及びベロ毒素の確認	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
				-	-	-	-

・第12週は、結核3件(61)、腸管出血性大腸菌感染症1件(1)、A型肝炎1件(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病1件(1)、梅毒2件(10)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

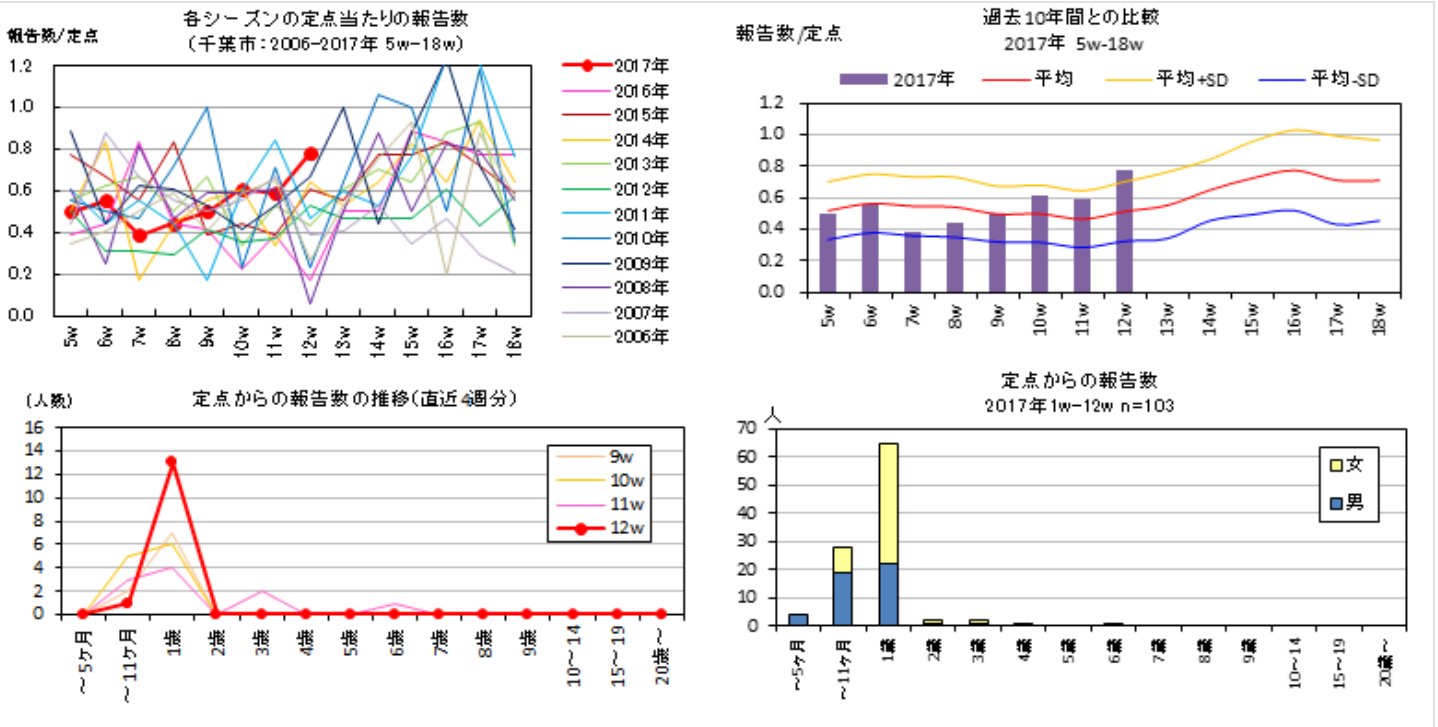
## 定点当たり報告数 第12週のコメント

<突発性発しん> 前週より増加し0.78となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

＜突発性発しん＞

全国レベルの2017年第11週は、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、愛媛県、大分県、鹿児島県で多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干多めとなっています。千葉市の2017年第12週は、前週より増加し0.78となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、稲毛区で最も多く、同区の1歳で発生報告がありました。2017年第1週から第12週までの累積報告数(n=103)によると、性別では男性が47.6%(49名)、女性が52.4%(54名)で、年齢階級別では1歳(63.1%:65名)、6か月～11か月(27.2%:28名)、0か月～5か月(3.9%:4名)の順に多くなっています。



＜梅毒＞

全国レベルの2017年第11週の発生届累積数は926件となり、過去10年の同時期と比べると最も多かった昨年のおよそ1.3倍となっています。都道府県別では、東京都、大阪府、神奈川県に多く報告されています。千葉県は全国第8位となっています。千葉市では2017年第12週に2件の発生届があり、累積数が10件となり過去10年と比べると平均レベルに達しています。過去10年の累積発生届出数を月別で比べると今月時点で最多となっています。発生届の内訳は、性別では男性が40%(4名)、女性が60%(6名)で、年齢階級別では20歳代(60%:6名)、60歳代(20%:2名)の順で多くなっています。病型は早期顕症梅毒Ⅰ型、Ⅱ型、無症状病原体保有がそれぞれ同数(共に30%:3名)で、感染原因は性的接触が90%となっており、その内訳は性交が77.8%(7名)、性交及び経口が22.2%(2名)で、接触者は異性間(77.8%:7名)、同性間(11.1%:1名)、不明(11.1%:1名)となっています。

